

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 1月号 (NO57)

2015年1月10日 (土) 発行 (毎月10日)

【農暦】農的生活をポジティブに考え直さねばと！

○何となく日々の生活のパターンに流され、畑の片付けも整理も出来ないままで、新年を迎えてしまった。一年の括りでやるべきことが出来ていない様な気がして、気持ちがモヤットしていた。やれておれば違った心境になれたのかもしれない。新年を演出するためにと云ったら年神様に怒られてしまうが、そんな思いもあって、門松を飾る。年末の大掃除も省略が多く、門松だけを新年の雰囲気づくりに使っては罰が当たるかもしれない。門松だけが新年の雰囲気を作っている。そんな気がする。

○年末年始は、門松に始まって、簡単な御節料理、初詣でお守りにおみくじが、恒例になって来ている。花より団子とは言わないが、抹茶と落雁、善哉、そして露店めぐりである。罰あたりのレベルにある。親鸞の悪人正機ではないが、真摯な帰依あれば救いがあるのかも知れない。吉だ、凶だを、気にしている。異常気候と決して良くない世情とを思いながらも長閑な日々を過ごしている。

○歴史が教える処では過酷な世の中に引き込まれるのに余り時間を必要としない。ロシア帝国の滅亡の日に貴族はいつものように夜会のダンスを楽しんでいたと云う。真逆に近い貴族の事を引き合いに出すのは少々違和感があるが、平和の文字が欠け始めているようで、何か嫌なものを感じる。大変なものが進展しているようで怖い。あの時が一番良かったとは言いたくない。

○門松を31日に飾るのは1夜(1日)飾りと言って、神様をおろそかにすると謂われ避けなければいけないと云われている。年末の買い物などでタイミングを逸してしまい31日に飾ることになった。7日までを松の内と云い、門松は6日の夕方を外すらしい。反省もあって、7日の朝、早々に門松を外した。

○その日の朝の新聞を覗くとノーベル賞受賞者の利根川進さんの記事が載っていた。あの？理科学研究所の脳科学総合研究センター長をやられておられる。”便利さには危険もある。”“科学技術の力で人間が住みやすいように環境を作りかえる能力を持つほどに進化した。”“私たちの子孫は全く新しい環境のなかで生きていく可能性がある。非常に面白い時



＜布施弁天で呼魂太鼓＞^{こたま}太鼓のズシーン
とした音が身体の芯に響く。新鮮なものが
伝わって来るような、。2日撮影

代だ。“と語っていた。不信の目でしか見られない学者が多い中で、ポジティブで明確な考え方には敬服するものがある。ネガティブシンキングの多い私である。考えただけでも学ばねばと思う。そして経年劣化が続いている農的生活をポジティブに考え直さねばと秘かに思った次第である。

<短歌3首>

何となく 年の括りの 少なさに
新たな気持ち 門松に得る
歳重ね 新年の気は 軽くなる
時の重みは 増えると云うに
紅白の 後に始まる 除夜の音が
慎みの気と 初春を運ぶ

【楽農】爆弾低気圧の強風でハウス大破

<ハウス> ; <畑A> ; 片付けなど

<畑B> ; 菊芋と里芋の収穫

*カボチャ、キューイ、黒豆の出荷。

*ハウスが一部破損で修理したが次の爆弾低気圧の強風で大破してしまった（ビニール張替検討中）。

【楽市】イベント交流・直売など

○その他 ; 足立の歴史講座（12日）、県政提言集会（18日）に参加など。

*12月上旬の忘年会に続いて、ラクビーOB会（15日）、詩吟の会（16日）、共生の会（20日）などの忘年会に参加する。

【つぶやき=Tweet】“森は海の恋人”の畠山重篤さんの講演は！

○本を読む時間はありそうで無い。生涯現役をと云いながらも実態は毎日サンデーである。年末年始に本を読もうなどと思う必要はないのだが、読もうと意識しないと読めないものである。ピッコロファームの会のKさん（Kさんは私を含め3人いるが）から「超弦理論入門」大栗博司著を薦められ本を貸してくれた。若い頃からブラックホールに興味があったとの話から始まって宇宙談議になって暗黒物質、暗黒エネルギーの話をしたことがあったからで、宇宙の研究は、その次のステップに進み、この分野で多くの日本人が活躍されていると云う。借りたままになっていたので、この機会に読むことにして、やっと読了した。上述の利根川進さんも”残る謎のうち最大のものは、脳（農ではない）と宇宙だ”云っているが、面白く興味深く読めた。難解な事柄を判り易く解説されていたが、ここで私が紹介出来る程には消化出来ていないので、本論とは外れるが、本的一端を紹介する。宮沢賢



<布施弁天の榎の大木>江戸の中期ころは？武蔵野の大地は榎の森林に覆われていたと云うが？ 2日撮影

治の長詩「小岩井農場」の一節や高村光太郎の「道程」が何故か載っている。宇宙の謎の研究活動に示唆や励まされる事柄を感じるようである。また、小川洋子の「博士の愛した数式」(新潮社)で、未亡人とお手伝いさんのわだかまりを解くのは、博士のメモ用紙に書かれたオイラーの公式 $ei\pi + 1 = 0$ です。と紹介されている。この公式が宇宙の謎解きに繋がると云う。映画化された作品を大分前になるが楽しく観た記憶がある。これ以外にも、この本には、昔人の哲学者や偉人の言葉が引用されている。人間の知性と感性の繋がりを感じる。耳を傾けなければなら事柄(科学だけでない)が多い事を教えられた様な気もした。ラジオで聞いて興味を持った「嫌われる勇気」を今は読み始めている。オイラーの公式がどのように書かれているか気になり



「博士の愛した数式」を買い求めてしまった。実践も行動も無く本を読んでもと思いつつも、今のこの機会にと、つい手が出てしまう。

<県政提言集会>夢の提言でもいい、わいわいがやがやから始まればいい、、、。県庁で。
18日撮影

○農の事で、いつもお世話になっているKさん(Kさんが多い)から「U-TUBEを見終わった所です。<略>時間がありましたら、ご覧ください。」と年頭に返信メールが届いた。”いばらぎオーガニックフェスタで行われた“NPO法人「森は海の恋人」の理事長の畠山重篤さんの講演会(鰐淵学園で)の事でした。「早速見せて頂きました。山と海の事はかなり前に聞いたことがありましたが、具体的の話聞く機会が無かったので良い話を聞くことが出来ました。有難う御座います。」と返信させて頂いた。牡蠣養殖されている畠山さんの、山や里との良い関係を保つことで牡蠣養殖が成り立つと云う話は、森林のこともだが、里にあるのは農地で“農”のことも問われていた。鋭く環境問題を問うものであった。2011年には、国連森林フォーラムより、世界で森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人(フォレストヒーローズ)8名のうちの1人に選出されている。素晴らしい活動をなされている。東北大震災復興の牡蠣プロジェクトに少しでも支援出来る事になればと参加させて頂いたが、ベストでなくベターでもと思いつつも出来ていない。ネットで覗かれることをお奨めしたい。

【後記】

一周り小さくなった様な野辺、霜柱の畑、芽吹き準備中の凍土も良いですよ。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者; Kogure農場・小暮虎雄

住所; 笠間市本戸4201-10

携帯電話; 090-9333-4135

メール; torao-k@nifty.ne.jp

HP; <http://homepage3.nifty.com/toragigi/>